

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	寺澤
	全体計画						経費区分		-		内線	3231
事務事業名	4149 人権交流センター運営事業											
所 属	130300 市民共創部・人権同和政策課											
施 策	07013800 人権が尊重される社会の実現											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	030402 民生費・人権同和政策費・人権交流センター費										
	事業	020000 人権交流センター運営事業										
事業目的						事業概要・効果						
地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発のための住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を行う。						部落差別をはじめあらゆる差別をなくすために各種相談事業、人権交流講座、地域福祉事業や市民への広報活動として市報への啓発記事記載を実施し、全市民的な人権問題の啓発や地域の実情に即した活動を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
人権交流センター運営審議会1回、人権交流講座3回、 各種相談事業 65件 93件 58件 地域福祉事業 1回、施設利用者 132回 2,322人	人権交流センター運営審議会1回、人権交流講座3回、 各種相談事業 106件 101件 66件 地域福祉事業 1回、施設利用者 128回 2,110人
平成24年度 実績	平成25年度 実績
人権交流センター運営審議会1回、人権交流講座3回、 各種相談事業 87件 83件 35件、 地域福祉事業 1回、人権交流センター耐震等補強工事、 施設利用者 76回 1,605人	人権交流センター運営審議会1回、人権交流講座3回、 特別講座3回、各種相談事業 95件 85件 27件 地域福祉事業 2回、人権交流センター改修工事 施設利用者 180回 2,490人
平成26年度 予定	平成27年度 予定
人権交流センター運営審議会1回、人権交流講座3回、 各種相談事業、地域福祉事業	人権交流センター運営審議会、人権交流講座、各種相談事業、 地域福祉事業

指標名	人権が侵害されたと思ったことがある人の割合を減少						
算式						単位	%
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標	9	8	7	6	5	
	実績	20					
指標選定の理由	お互いを思いやり人権を尊重する明るい須坂市を目指すことから地域住民社会の現状を把握するために市民意識調査及び人権に関する市民意識調査を実施して今後の人権政策の施策事業に反映させるため。						
最終年度目標の根拠	平成21年度の調査結果では10.2%であり各施策事業により平成27年度（最終年度）の目標を半分程度とした。						
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		23,667	9,916
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	12,611	4,687
	地方債	0	0
	その他	9	30
一般財源		11,047	5,199
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	2.0	2.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,371.6	1,371.6
	嘱託職員	5,450.0	5,450.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	6,821.6	6,821.6
市民一人当たりの経費		0.6	0.3
総額		30,488.6	16,737.6

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	75	講師謝礼75
11節 需用費	1,536	消耗品515、食糧費2、燃料費79、印刷製本費69、光熱水費（電気436、ガス49、上水48、下水14）修繕料324
13節 委託費	955	設計監理委託442、測量登記委託189、生活相談委託324
15節 工事請負費	14,007	駐車場造成工事1,722、人権交流センター改修工事12,285
19節 負担金補助及び交付金	104	県隣保館協議会負担金88、会議出席負担金 16
その他	6,990	報酬4818、嘱託職員社会保険料689、旅費10、役務費211、使用料賃借料807、備品448、公課費7

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	40	講師謝礼40
11節 需用費	1,982	消耗品909、食糧費5、燃料費80、印刷製本費60、光熱水費（電気490、ガス55、上水55、下水25）修繕料303
13節 委託費	392	生活相談委託324、清掃業務委託68
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	136	県隣保館協議会負担金88、会議出席負担金48
その他	7,366	報酬5146、嘱託職員社会保険料713、旅費50、役務費262、使用料賃借料995、備品193、公課費7

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	さまざまな人権問題の解決のための相談事業をはじめとした各種事業は大切である。また、災害の避難所として位置づけられ、高齢者の利用及び近隣地域や対象地域からの利用が多くなっている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	駐車場の整備や建物の改修により、施設利用者が増加した。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	改修工事により料理実習室のシステムキッチンを手椅子でも可能にしたが、今後は手椅子の方をはじめ施設利用者を増やす工夫が必要である。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

高齢者の2階会議室の利用が多くなってきているため、階段が急であるためエレベーターの設置を要望されている。また、2階の天井も老朽化し、落下の危険性があるため今後検討していきたい。

